



ケイティケイ株式会社

2012年8月期 決算説明会

2012年10月12日

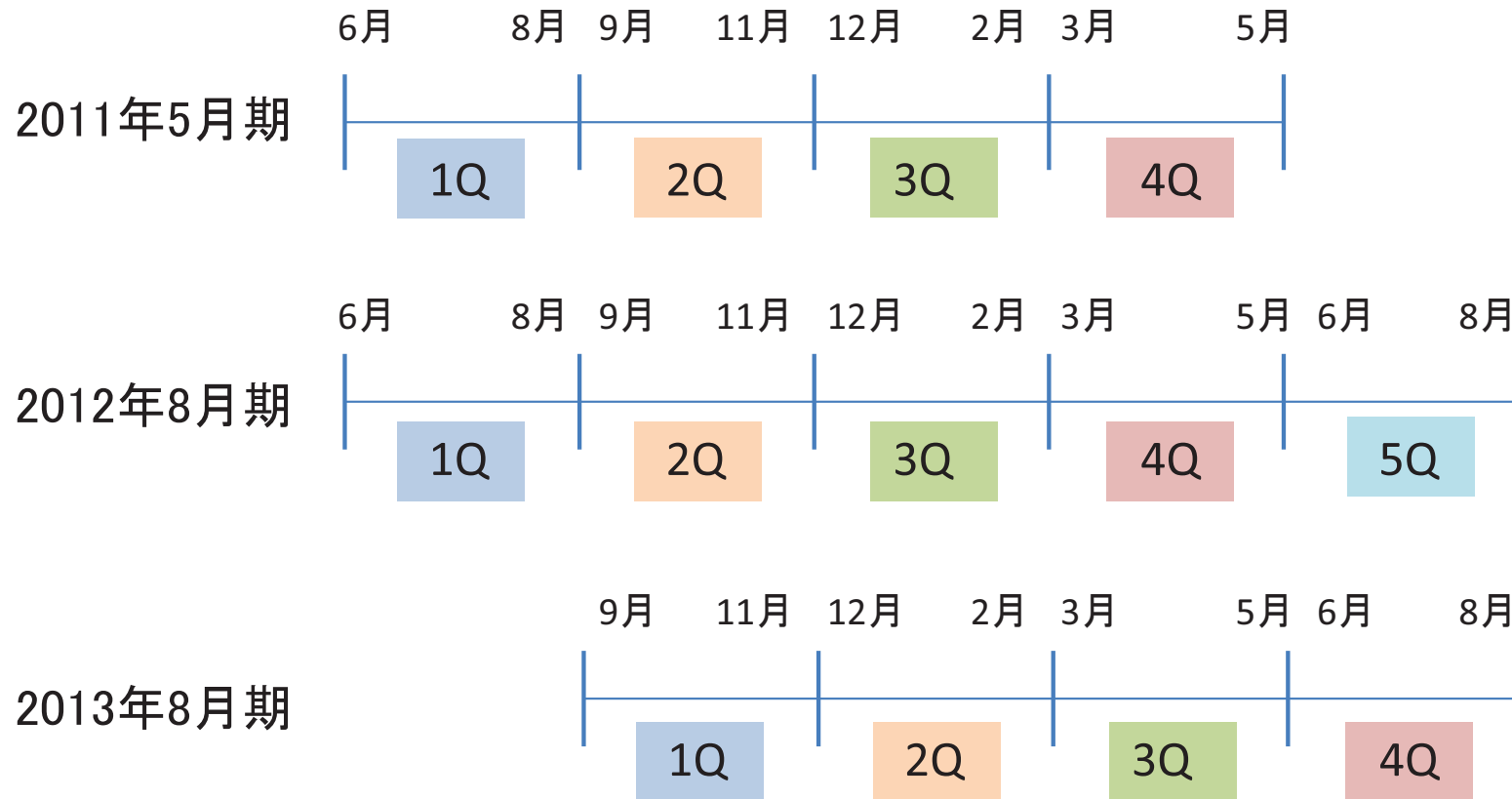


Listed Company 3035

- ・ **ご留意事項**
- ・ **株式会社青雲クラウンとの経営統合について**
 - I . **2012年8月期 業績**
 - II . **2013年8月期 業績予想**
 - III . **2013年8月期 事業戦略**

ご留意事項

決算期の変更に伴い、2013年8月期につきましては、前年同期との比較対象四半期が異なります。



株式会社青雲クラウンとの経営統合について

平成24年
8月2日発表

ktk
Total Business Support

ケイティケイ株式会社を親会社、株式会社青雲クラウンを完全子会社とする
「株式交換による経営統合」を平成24年8月2日に発表

(平成24年12月21日を効力発生日として実施予定)

お客様のニーズに対し、よりの確でスピーディーにお応えできる体制の構築が可能に

期待される
シナジー

バリューチェーンの川上から川下まで一気通貫する
「垂直統合型ビジネスモデル」の確立

ケイティケイ株式会社

- ・全国23拠点における人的販売力
- ・12,000社の法人顧客

販売

株式会社アイオーテクノ

- ・リサイクルトナー
370,000本／年の生産能力
- ・各種検査機器による品質管理能力

生産

株式会社青雲クラウン

- ・メーカーと太いパイプを持つ仕入調達力
- ・ITとロジスティクスを融合したプラットフォーム

調達・
物流

株式会社青雲クラウンとの経営統合について

平成24年
8月2日発表

ktk
Total Business Support

<株式会社青雲クラウン 会社概要>

| | |
|-------|--|
| 所在地 | 名古屋市名東区社台3丁目241番地 |
| 代表者 | 青山英生 |
| 創業 | 明治8年3月8日 本年で創業137年 |
| 設立 | 昭和22年12月19日 |
| 資本金 | 6,800万円 |
| 売上高 | 8,454百万円（平成24年6月期） |
| 経常利益 | 149百万円（平成24年6月期） |
| 事業内容 | 事務機器・OA機器・事務用品総合卸 クラウンブランド事務用品の製造販売 |
| 主な取引先 | カシオ計算機株式会社、株式会社キングジム、マックス株式会社、住友スリーエム株式会社、 シャチハタ株式会社 |
| 主な沿革 | <ul style="list-style-type: none">・昭和22年12月 法人組織設立「株式会社青雲堂商店」と改称。・平成2年1月 「株式会社青雲クラウン」に社名変更。クラウングループに加盟・平成15年10月 当社と販売提携契約を締結。主に当社「はっするネット」における物流面ならびに 仕入れ調達面でのサポートで提携。・平成15年11月 物流部門強化のため、小牧にMD-Logi(物流倉庫)開設。・平成22年8月 青雲クラウン青山代表取締役社長が当社の社外取締役役に就任。・平成24年8月 当社との経営統合(当社の完全子会社化)を発表。 青山代表取締役社長が当社の代表取締役副社長に就任。 |

■ 主要営業拠点



I .2012年8月期 業績

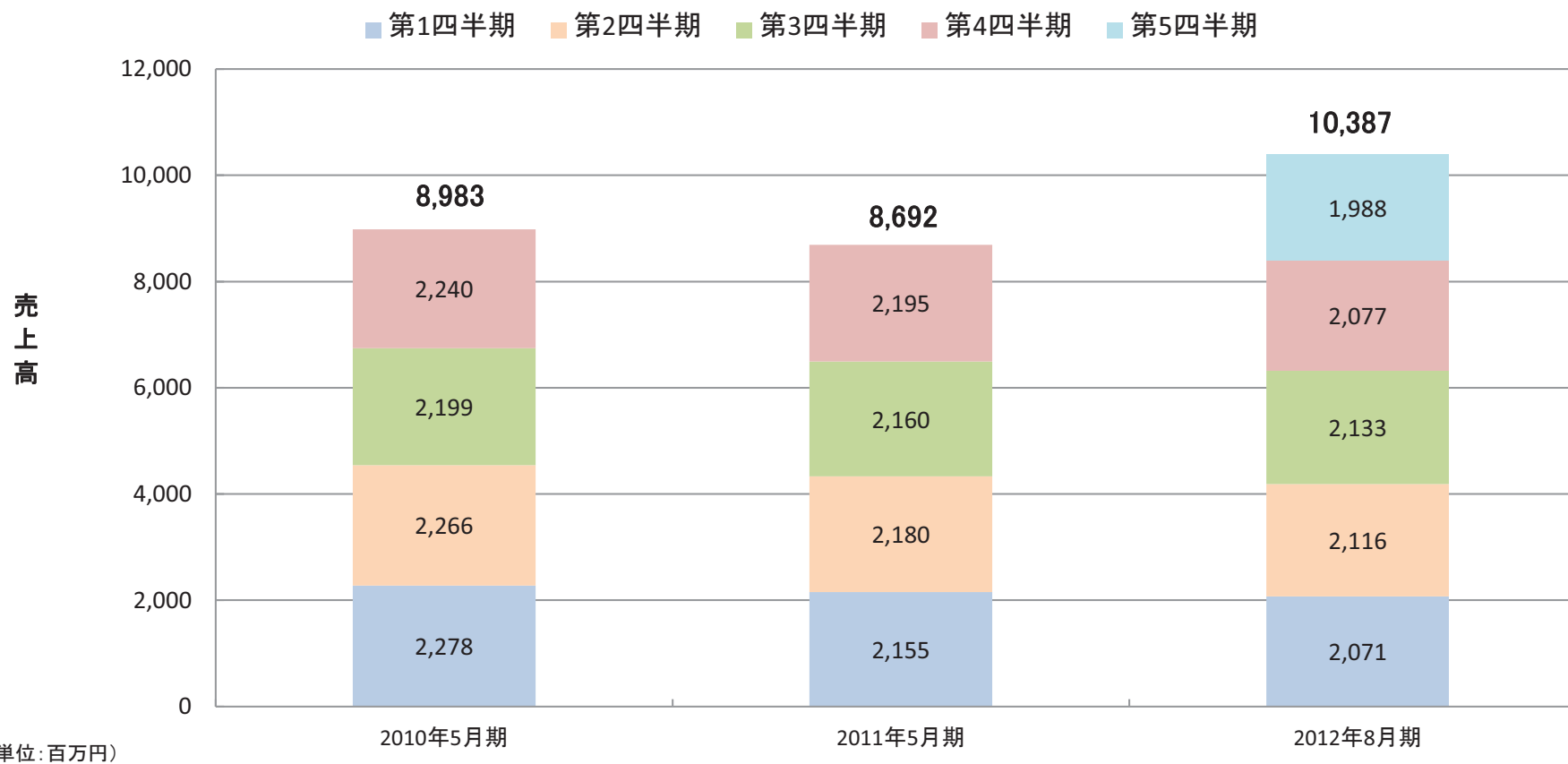
2012年8月期 業績の概要<連結>

(単位:百万円)

| | | 2011年5月期 実績 | 2012年8月期 | | 要因 |
|------------|----------|----------------|-----------------|--------------|-------------------------|
| | | | 第4四半期 (12か月) | 通期 (15か月) | |
| | | | 実績 | 実績 | |
| 売上高 | | 8,692 | 8,399 | 10,387 | 景気の低迷による買い控えが影響し売上が減少 |
| サプライ事業 | リサイクル商品 | 2,405 | 2,233 | 2,752 | 主力のリサイクルトナーの販売本数の減少 |
| | OAサプライ商品 | 5,266 | 5,051 | 6,253 | 純正トナーの販売不振 |
| | その他 | 772 | 849 | 1,055 | 一般事務用品が好調に推移 |
| ソリューション事業 | IT商品 | 248 | 264 | 326 | クラウド関連商品が売上増に寄与 |
| 売上総利益 | | 2,208 | 2,140 | 2,657 | 売上高の減少が影響 |
| 売上総利益率 | | 25.4% | 25.5% | 25.6% | リサイクルトナーの利益率改善が寄与 |
| 販売費及び一般管理費 | | 2,159 | 2,115 | 2,632 | グループ全体でのコスト削減努力により圧縮 |
| 営業利益 | | 49 | 25 | 25 | 売上高の減少が影響 |
| 経常利益 | | 44 | 19 | 18 | |
| 当期純利益 | | 18 | 6 | △ 78 | リース解約損他による特別損失の計上により赤字に |

2012年8月期は決算期の変更により15か月の変則決算となっております。そのため通期の対前年比率は記載していません。

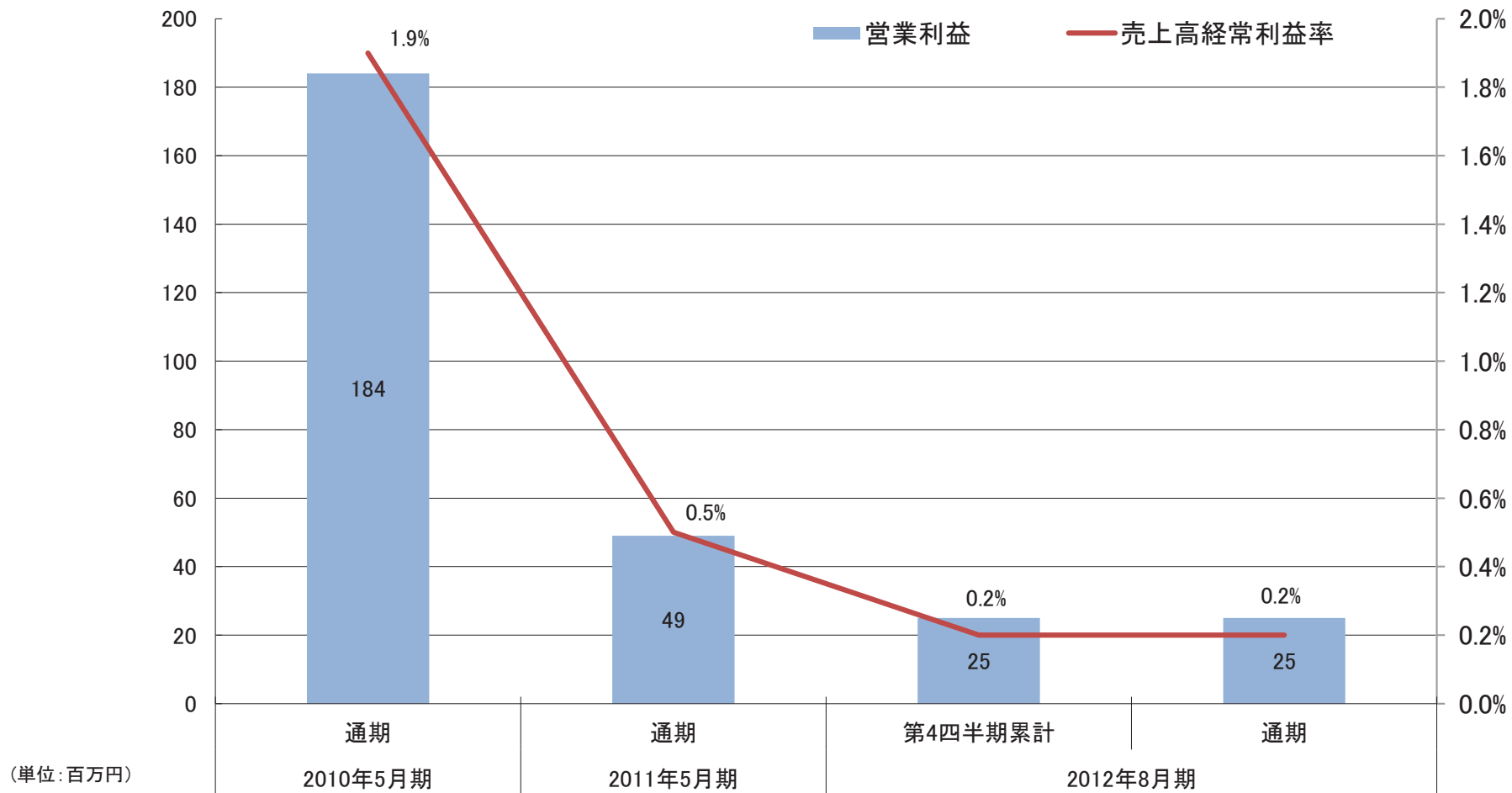
売上高の推移<連結>



2012年8月期は決算期の変更により15か月の変則決算となっております。

売上高は、企業の消耗品の買い控え等の影響を受け、通期で10,387百万円となった。

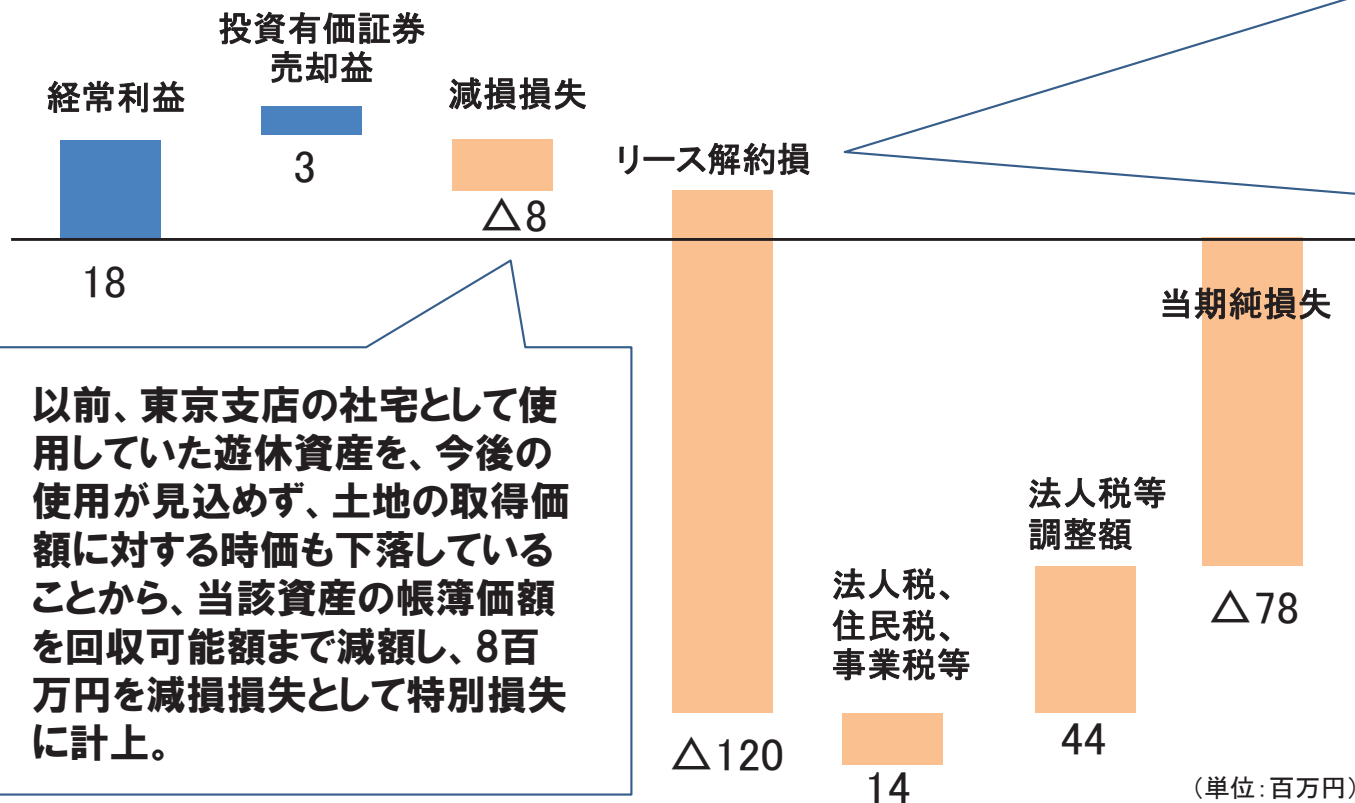
営業利益の推移<連結>



営業利益は25百万円、経常利益は18百万円、当期純損失は78百万円となった。

特別損失の計上について<連結>

<当期純利益増減要因>



以前、東京支店の社宅として使用していた遊休資産を、今後の使用が見込めず、土地の取得価額に対する時価も下落していることから、当該資産の帳簿価額を回収可能額まで減額し、8百万円を減損損失として特別損失に計上。

当期末で2009年9月より開始したPFRS(プリンターフリーレンタルサービス)用プリンターのリース会社とのリース契約を解約、その未払いリース料等120百万円をリース解約損として特別損失に計上。

◎PFRSとは
消耗品(トナー、インク)の使用量が一定以上ある得意先とプリンターの貸与契約を結び、当社がプリンターのリース代金を負担することと引き換えに当社から消耗品をご購入頂くというサービス。

景気低迷による消耗品の買い控え等の影響により当期収益計画を下回り、特別損失として、リース解約損、減損損失ほか130百万円を計上。

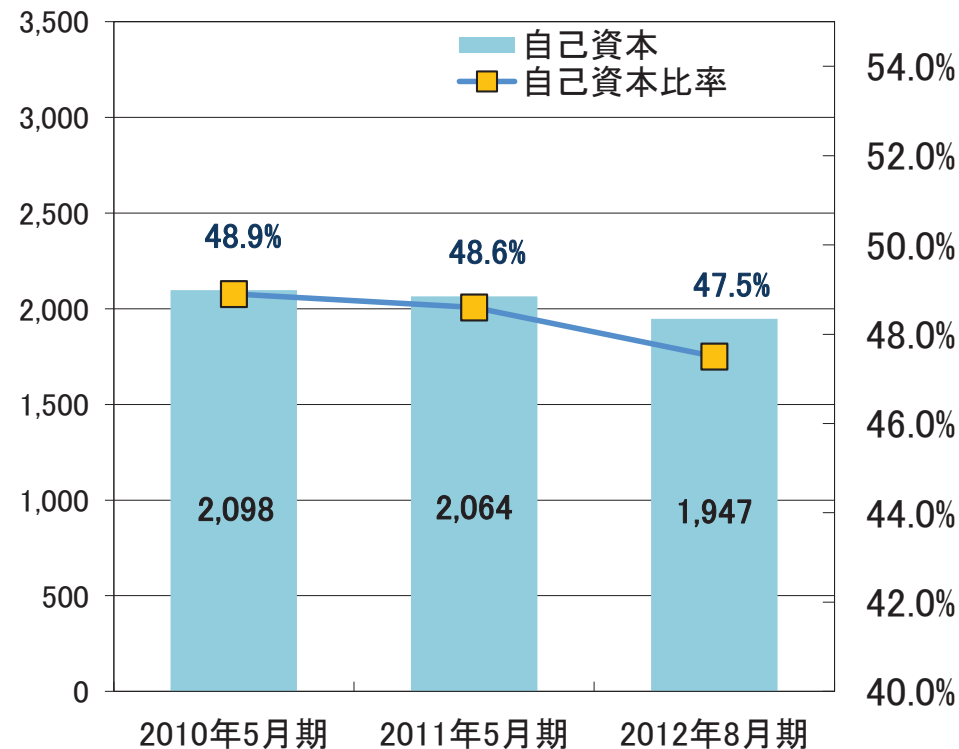
財務の状況 < 連結 >

■ 貸借対照表

(単位: 百万円)

| | 2010年5月期 | 2011年5月期 | 2012年8月期 | |
|---------|----------|----------|-------------------|--------------|
| | 通期 | 通期 | 第4四半期累計 (12か月) | 通期 (15か月) |
| 流動資産 | 2,632 | 2,455 | 2,429 | 2,320 |
| (たな卸資産) | 170 | 188 | 254 | 218 |
| 固定資産 | 1,657 | 1,795 | 1,760 | 1,781 |
| 資産合計 | 4,289 | 4,250 | 4,190 | 4,101 |
| 流動負債 | 2,084 | 2,045 | 2,016 | 2,027 |
| 固定負債 | 107 | 139 | 143 | 127 |
| 負債合計 | 2,191 | 2,185 | 2,159 | 2,154 |
| 純資産合計 | 2,098 | 2,064 | 2,030 | 1,947 |
| 負債純資産合計 | 4,289 | 4,250 | 4,190 | 4,101 |

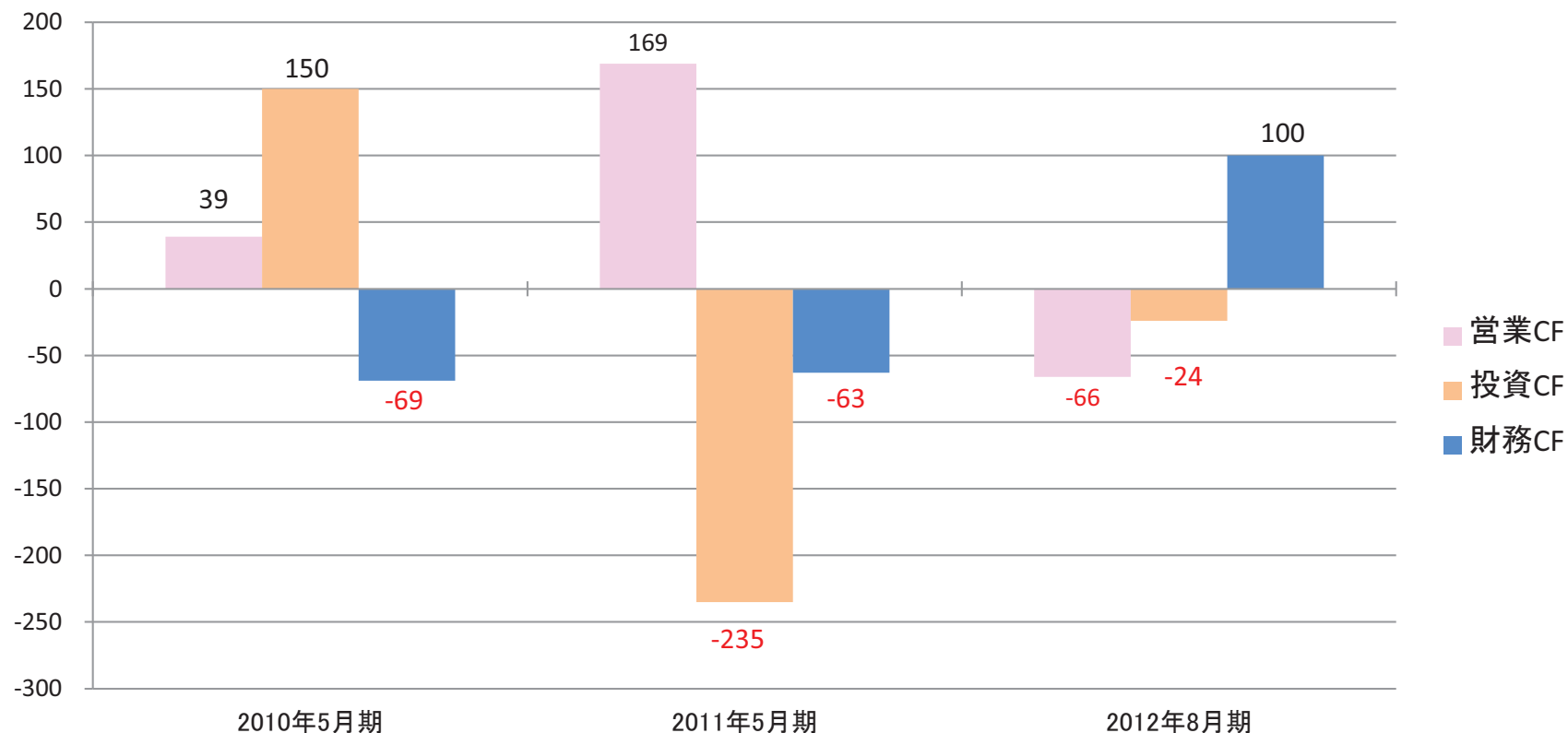
■ 自己資本比率



(単位: 百万円)

特別損失の計上による当期純損失の影響により、自己資本比率は低下した。

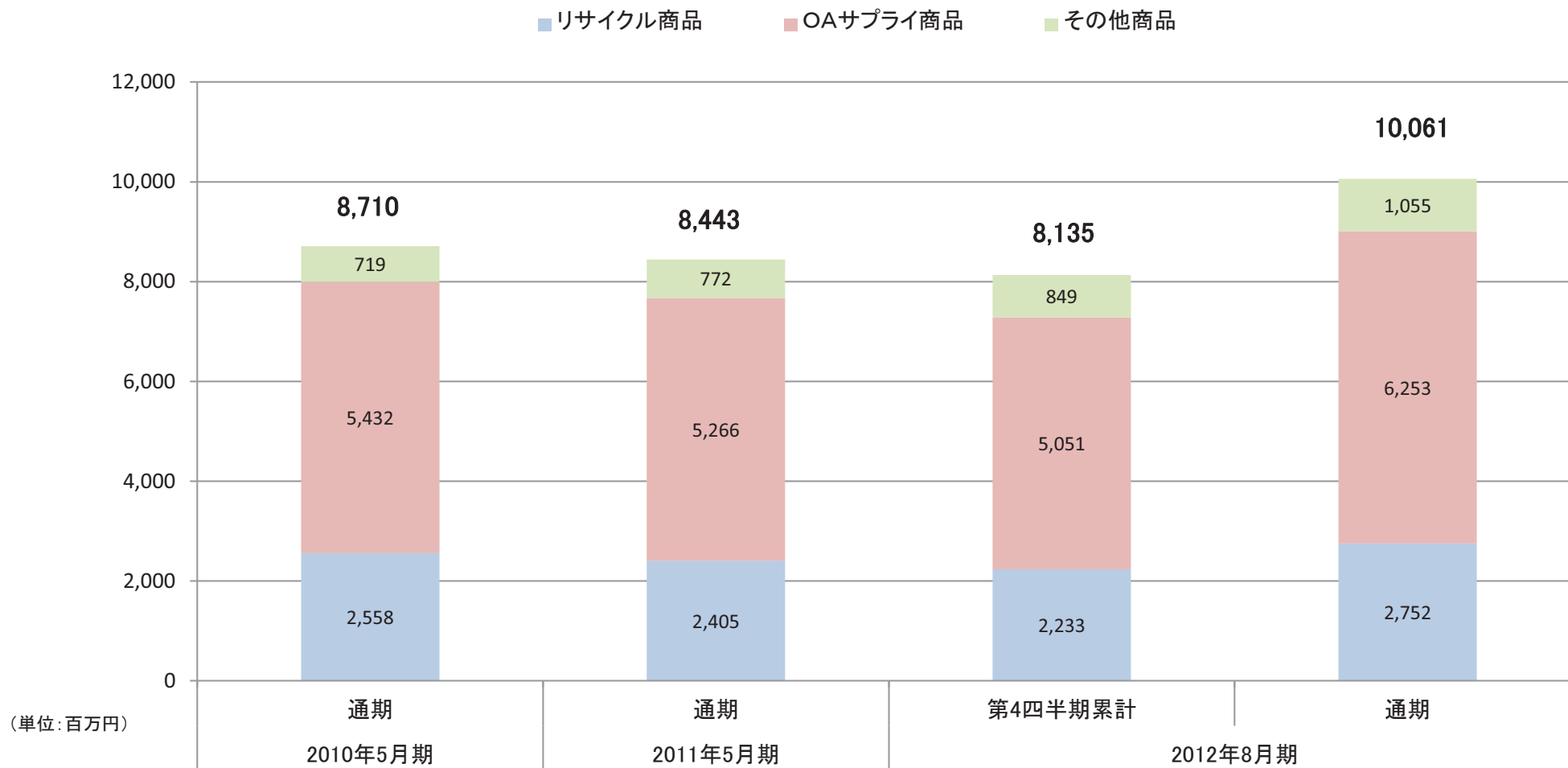
キャッシュ・フローの状況<連結>



(単位:百万円)

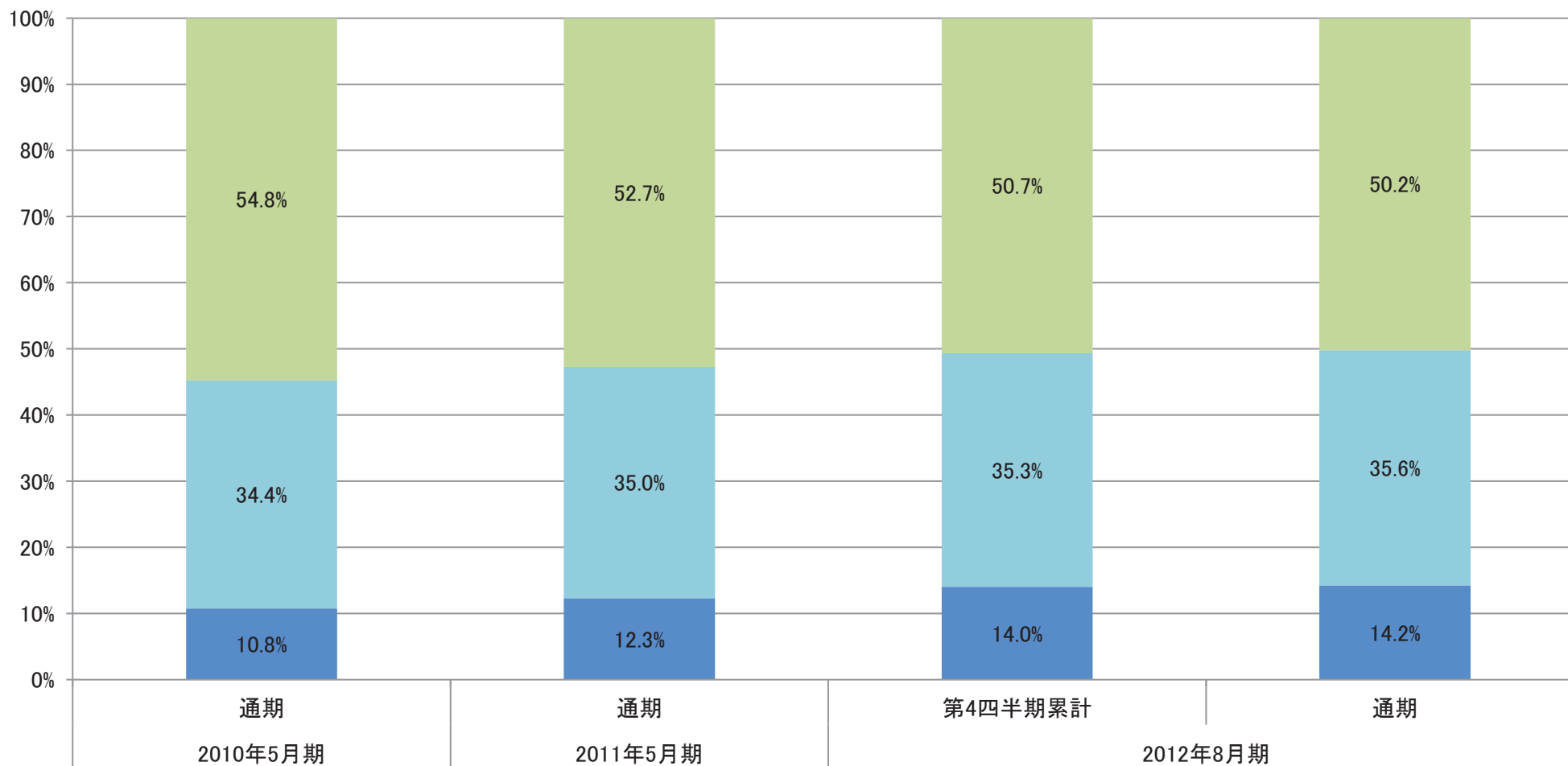
営業活動によるCFは、(特別損失計上に伴い)税金等調整前当期純損失の発生により△66百万円となった。
投資活動によるCFは、有形及び無形固定資産の取得による支出等により△24百万円となった。
財務活動によるCFは、短期借入金の増加に伴い100百万円となった。

サプライ事業



サプライ事業は、リサイクル商品の「リパケットナー」、OAサプライ商品の「国内純正トナー」の販売本数の減少が影響し、減収となった。

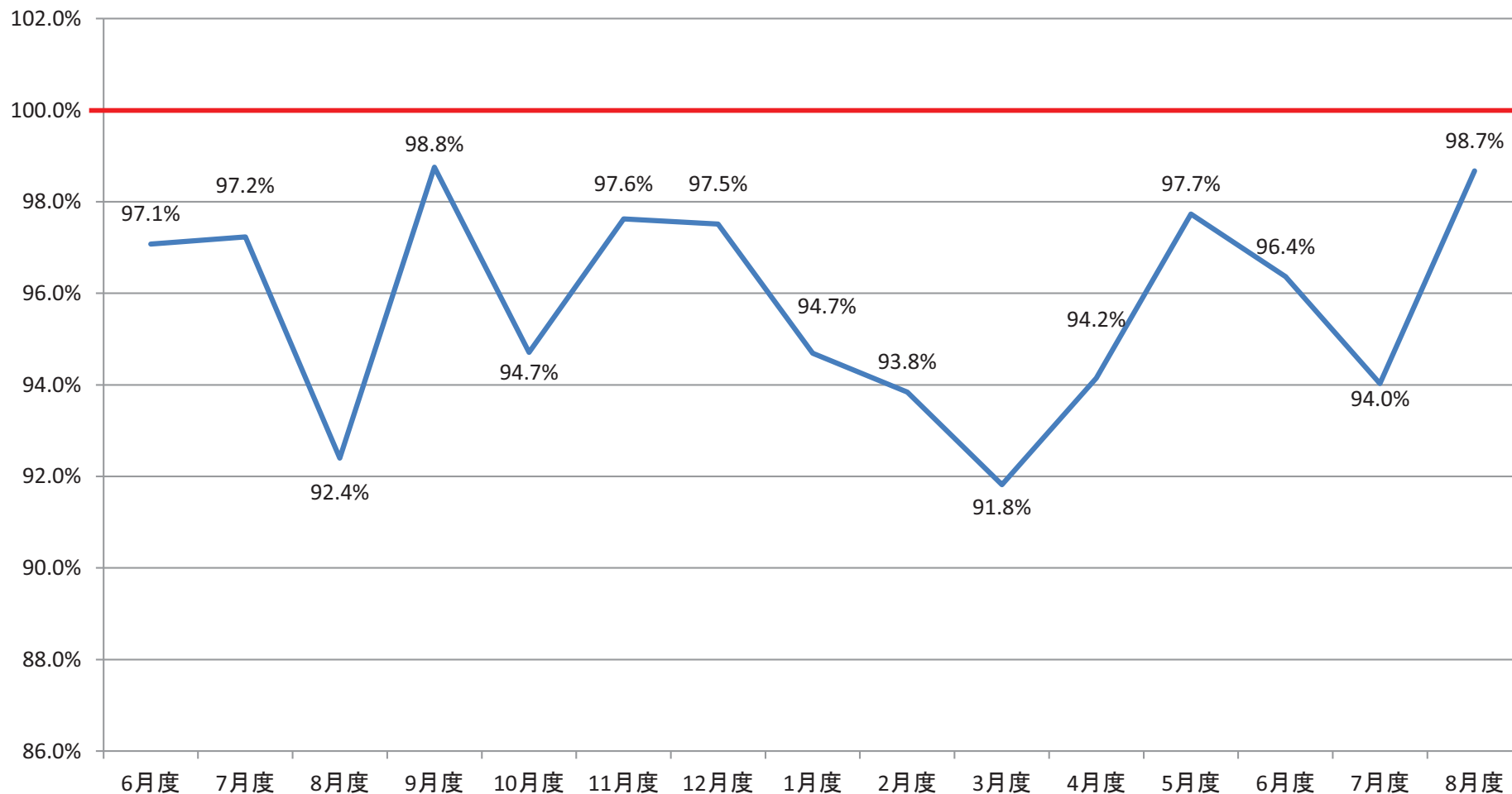
■ サプライ事業 WEB受注(カスタマイズはっするネット)比率 ■ サプライ事業 WEB受注(はっするネット)比率 ■ サプライ事業 WEB以外売上比率



サプライ事業全体の売上に占める「カスタマイズはっするネット」の割合は増加し、14.2%となった。

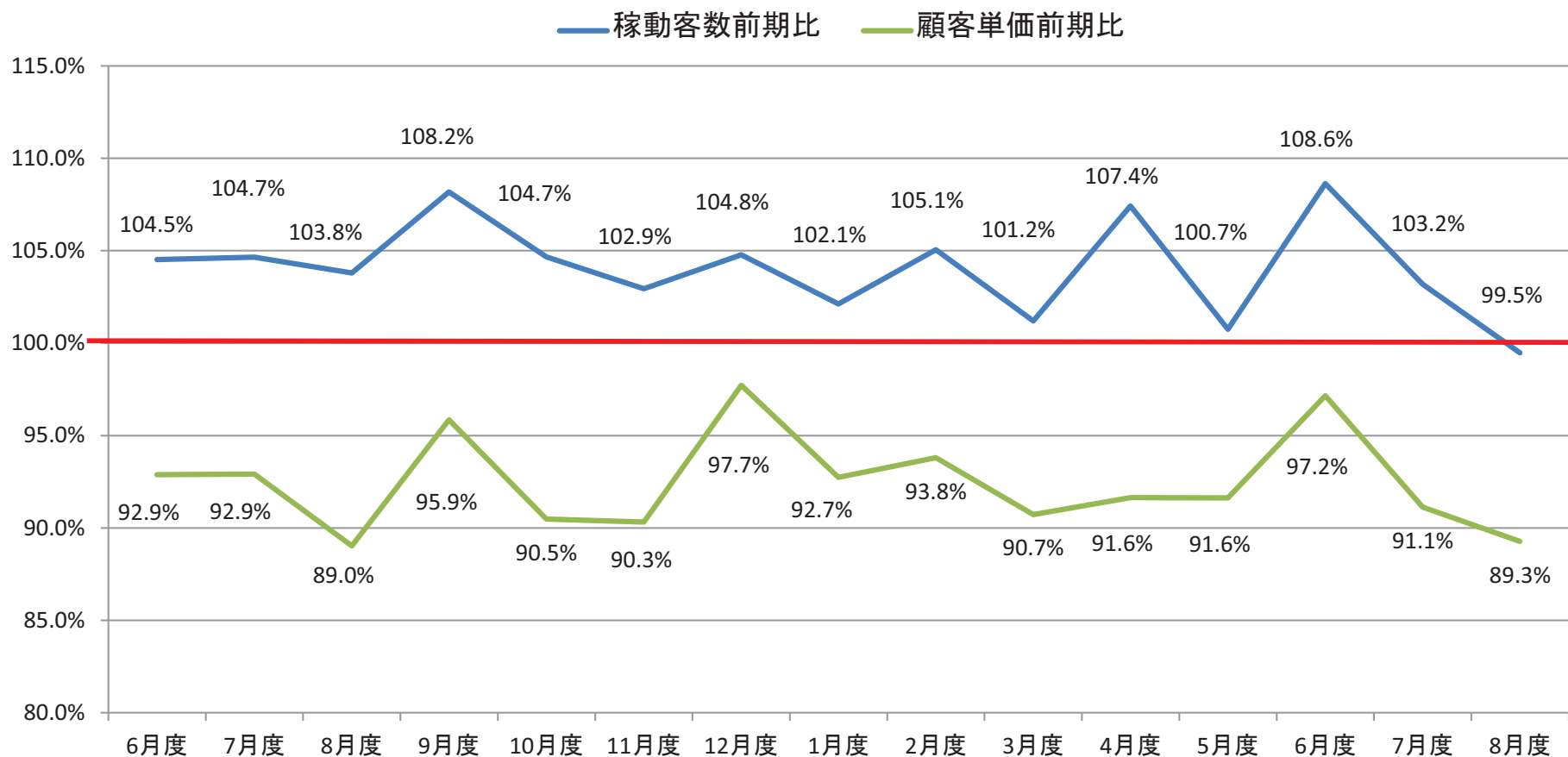
1日あたり売上高の推移(対前期比)

2012年8月期 1日あたり売上前期比率

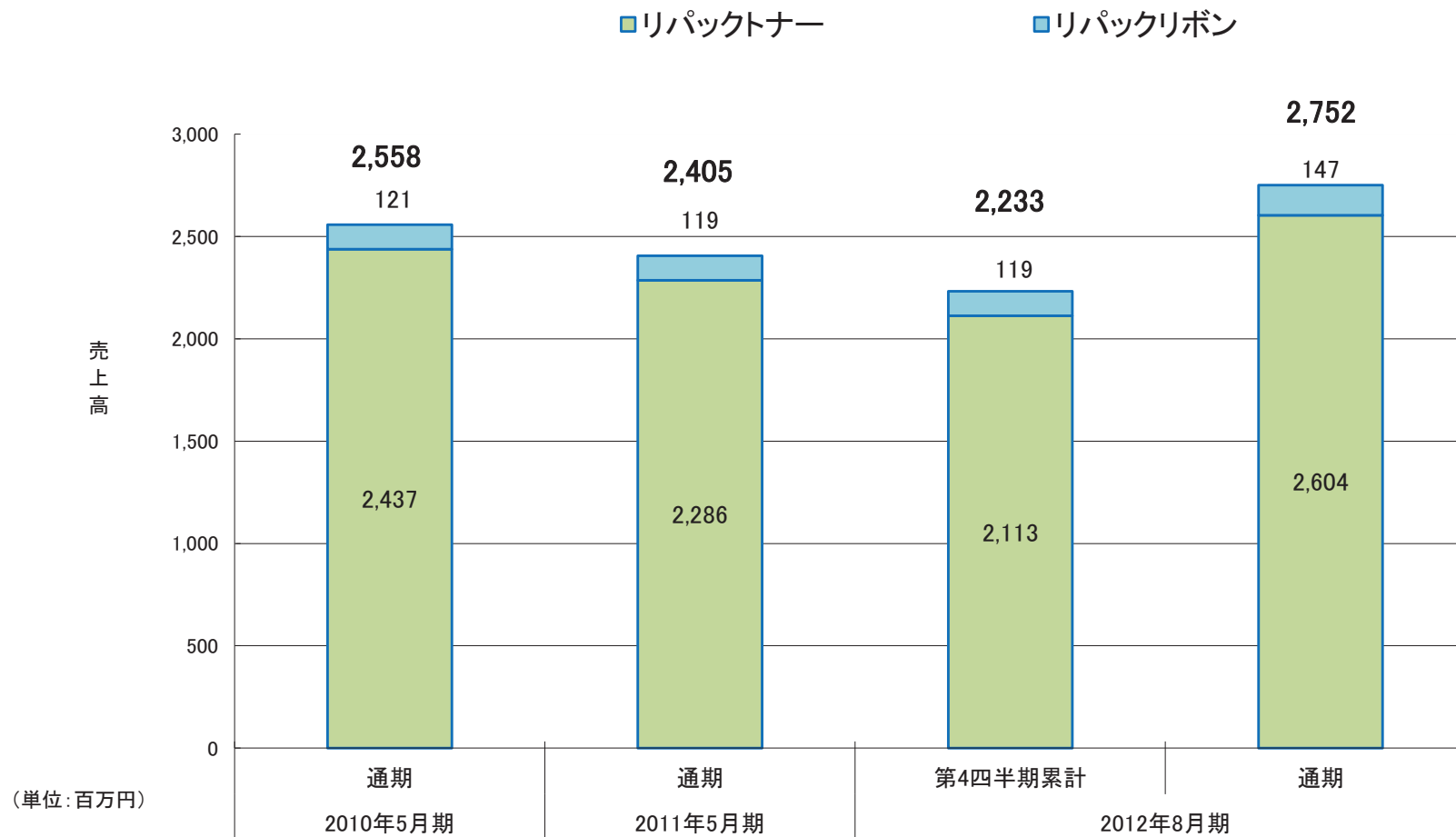


長引く景気低迷によるお客様の買い控えの影響から、1日あたり売上高は前期同月比の90%台で終始した。

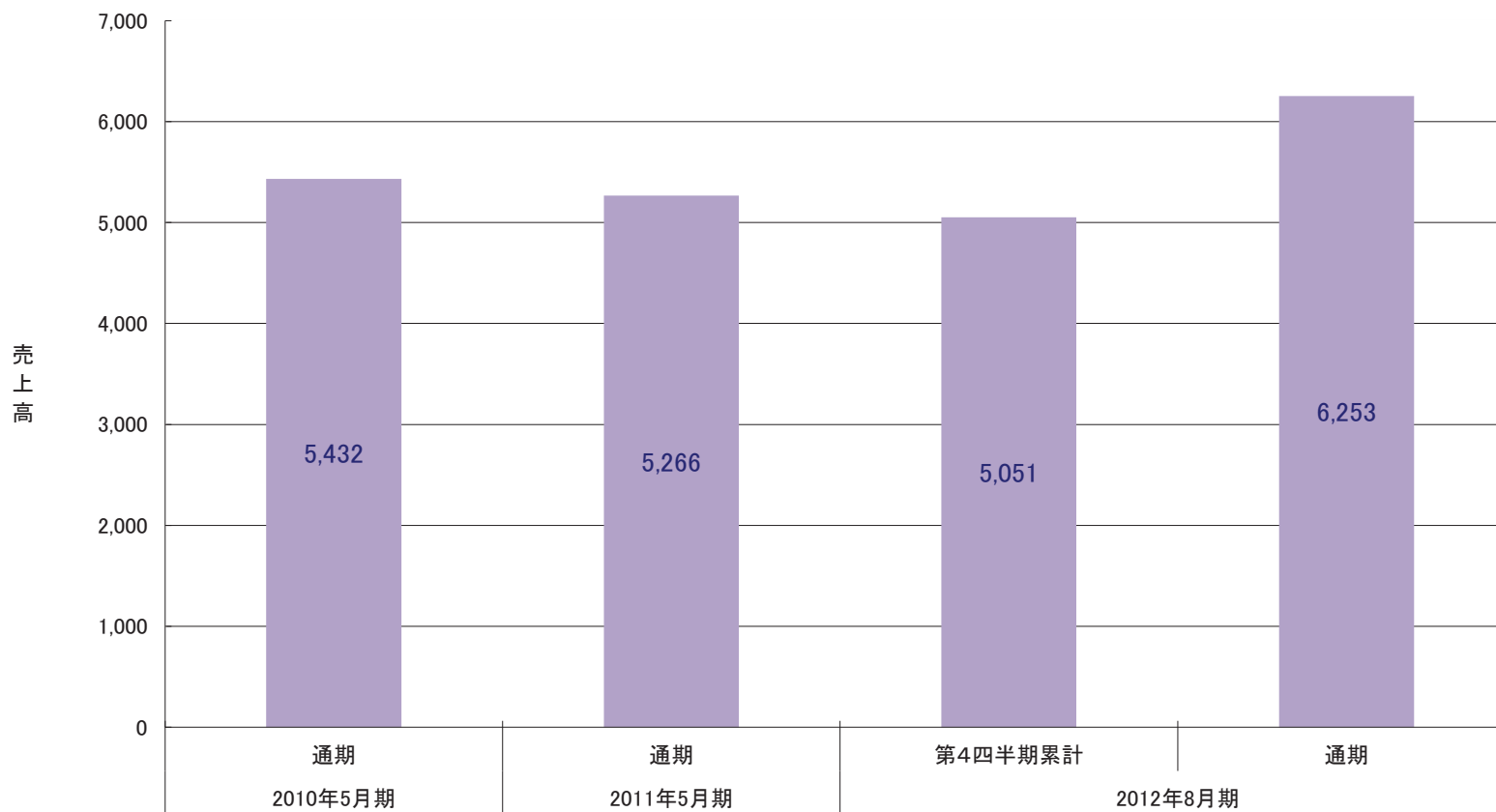
稼働客数と顧客単価の推移(対前期比)



稼働客数は前期同月比で増えているものの、顧客単価は前期同月比割れで推移し、全体の売上に影響が及んだ。

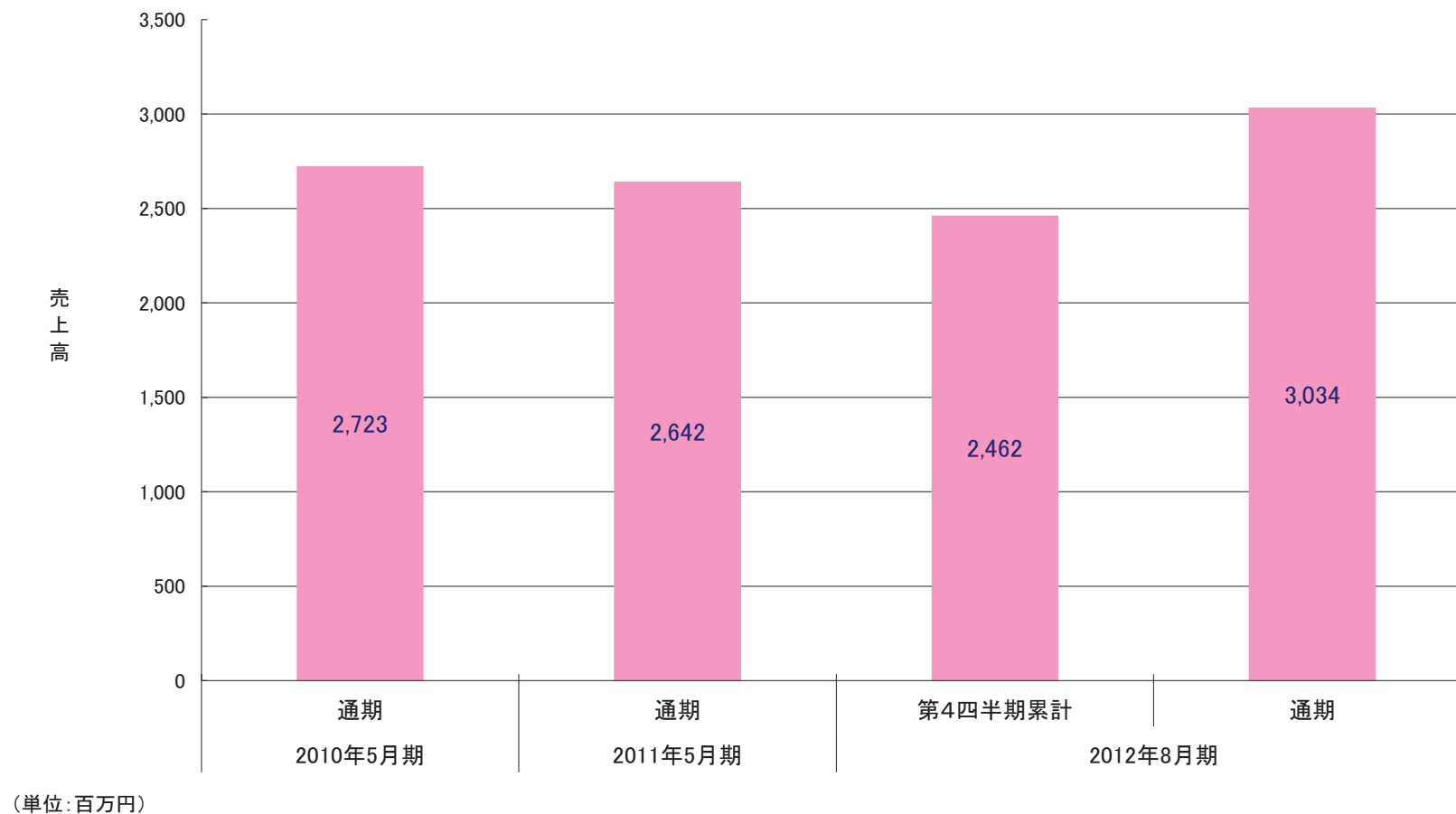


リサイクル商品の売上高は、リパクトナーの販売本数減少により、減収となった。

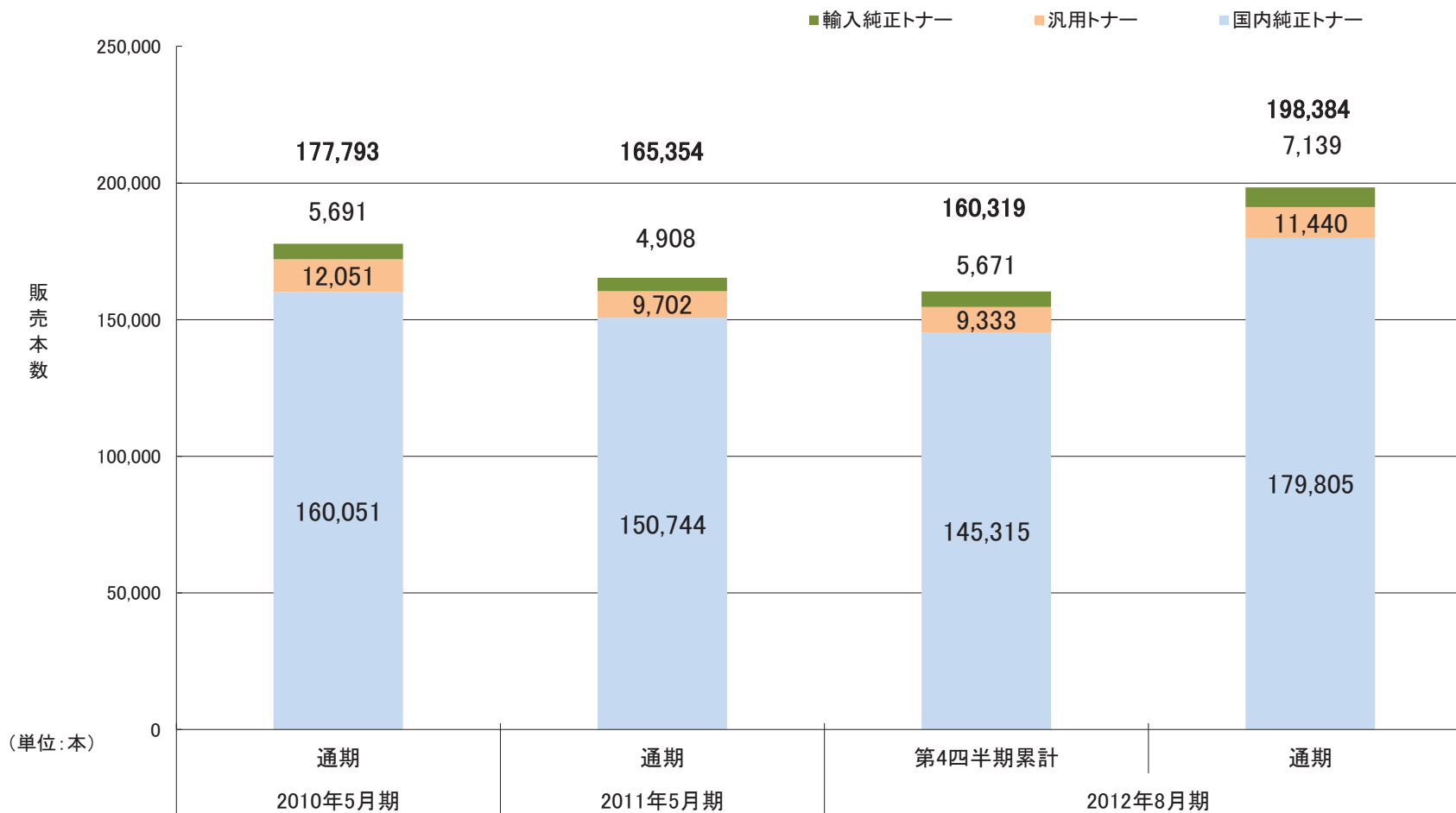


(単位:百万円)

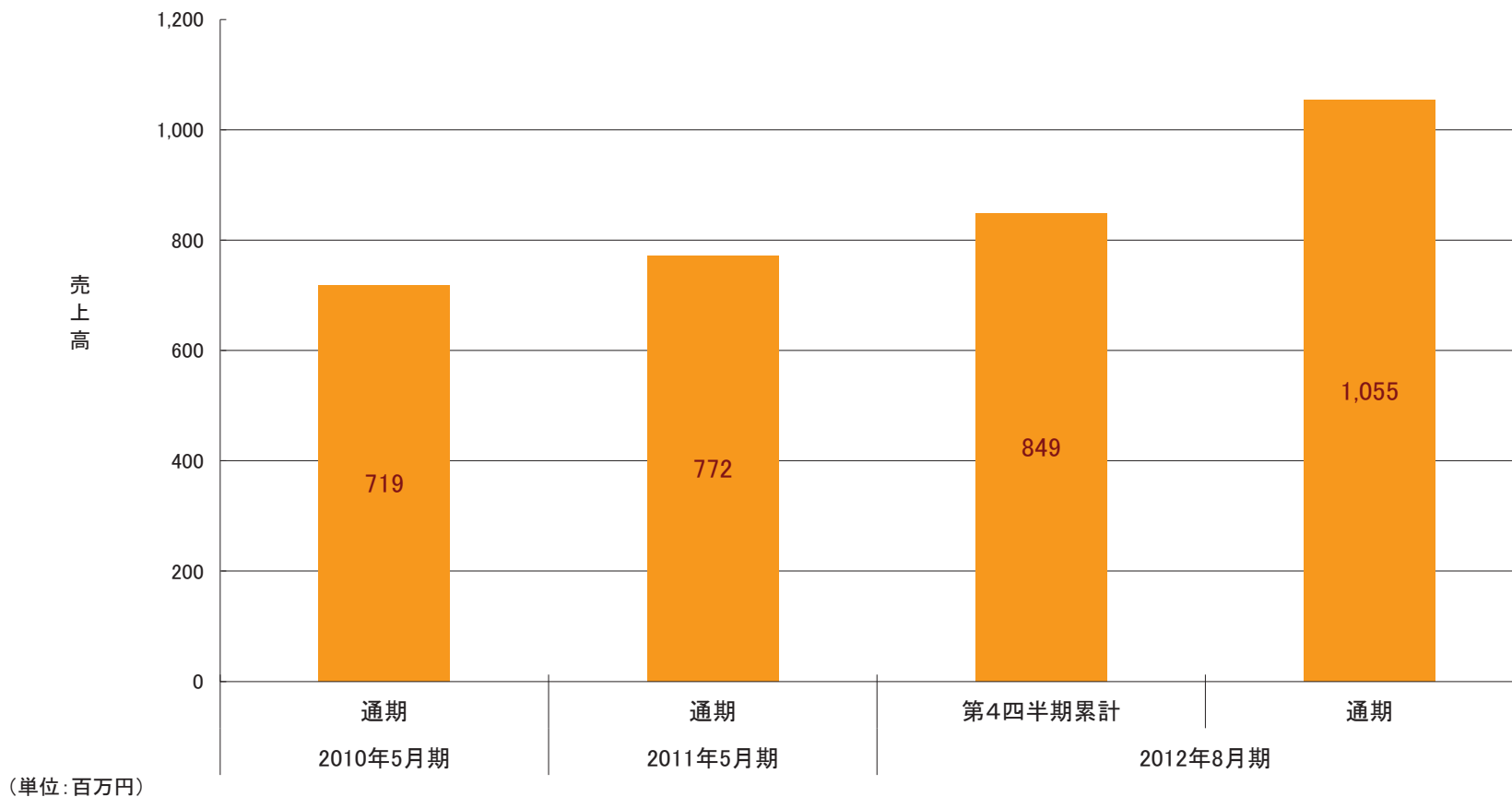
OAサプライ商品は、新品トナーカートリッジ及び紙製品の売上高が減少し、減収となった。



新品トナーカートリッジは、買い控えなど、消費マインドの冷え込みにより、減収となった。

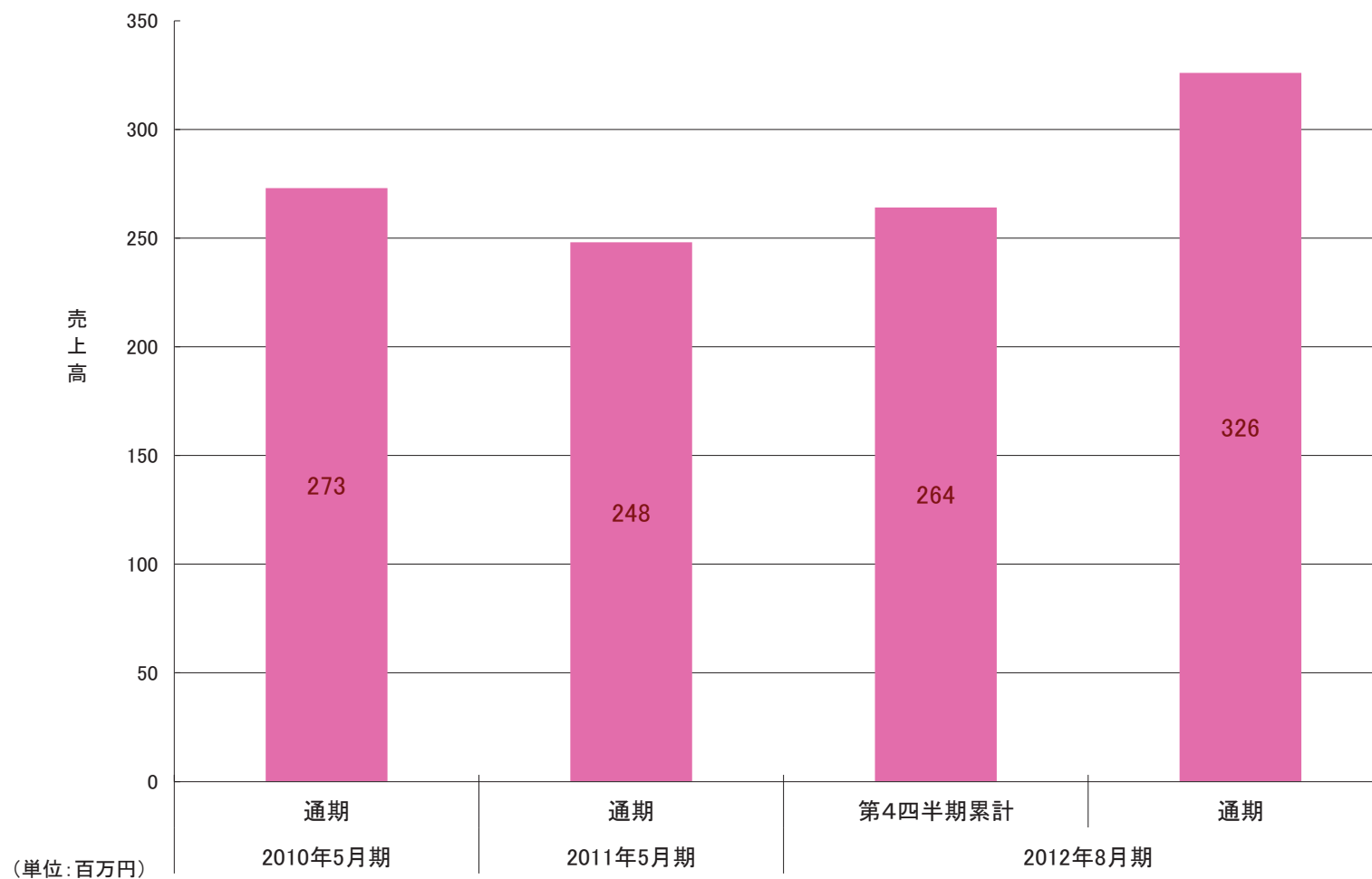


純正トナーカートリッジの販売本数は国内プリンターメーカーの囲い込みの影響を受け減少傾向にある。コスト競争力のある輸入純正トナーの販売本数は増加となった。



一般事務用品の販売が好調で、売上高は増収となった。

ソリューション事業



企業の災害対策や事業継続計画に向けたクラウド関連商品が好調で増収となった。

Ⅱ.2013年8月期 業績予想

2013年8月期通期の予想<連結>

サプライ 事業

リサイクル商品

①Web購買システム「はっするネット」の導入顧客数増加を図る。

OAサプライ商品

②リサイクル商品を中心に拡販する。

その他
(ステーションナリー商品他)

③既存顧客の客単価の引き上げを図る。

ソリューション 事業

I T 商 品

好調なクラウド型メールセキュリティサービス「@Securemail」や、IaaS型パブリッククラウド「ActCLOUD」などのクラウド関連商品を中心に拡販する。

株 主 還 元

年間配当は8円を予定しております。

2013年8月期通期業績の予想<連結>

(単位:百万円)

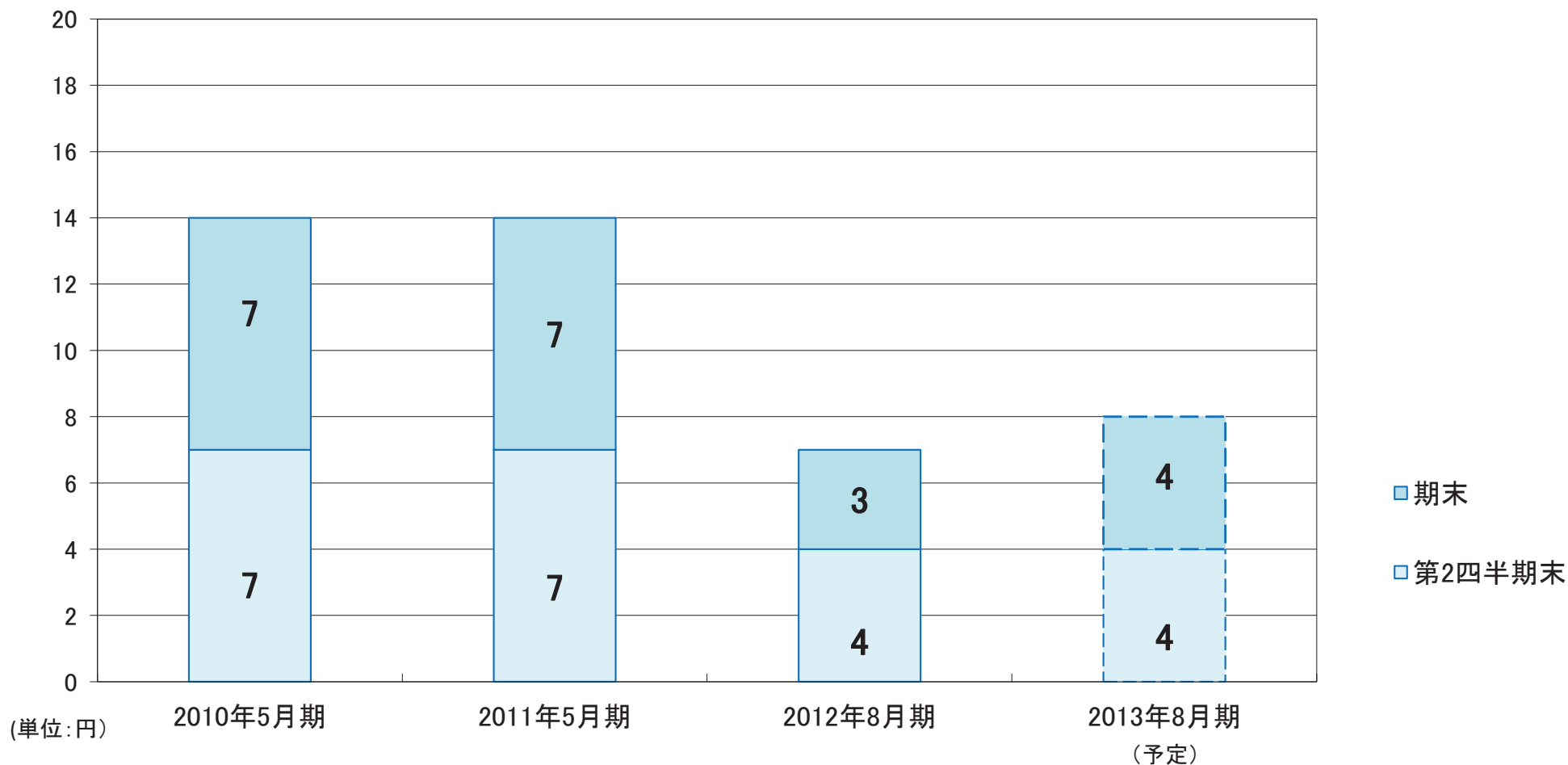
| | 2013年8月期 | |
|------------|-----------------------|-----------------------|
| | 第2四半期 | 通期 |
| | 2012年8月21日～2013年2月20日 | 2012年8月21日～2013年8月20日 |
| 売上高 | 4,172 | 12,892 |
| 売上総利益 | 1,075 | 2,890 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,059 | 2,757 |
| 営業利益 | 15 | 132 |
| 経常利益 | 15 | 117 |
| 売上高経常利益率 | 0.4% | 0.9% |
| 当期純利益 | 5 | 46 |

※上記に記載した連結業績予想数値は、当社の通期(平成24年8月21日から平成25年8月20日)の損益計算書計上額に、平成24年12月21日に当社の連結子会社となる株式会社青雲クラウンの第3四半期以降(平成24年12月21日から平成25年6月20日)の連結損益計算書を連結した金額となっております。

なお、2012年8月期が15か月の変則決算のため対象となる四半期が異なります。そのため対前年比率は記載しておりません。

2013年8月期については、当期に発生した特別損失の減少、リパクトナーの拡販やはっするネットの導入促進効果などにより、営業利益、経常利益、当期純利益ともに黒字化の見込み。

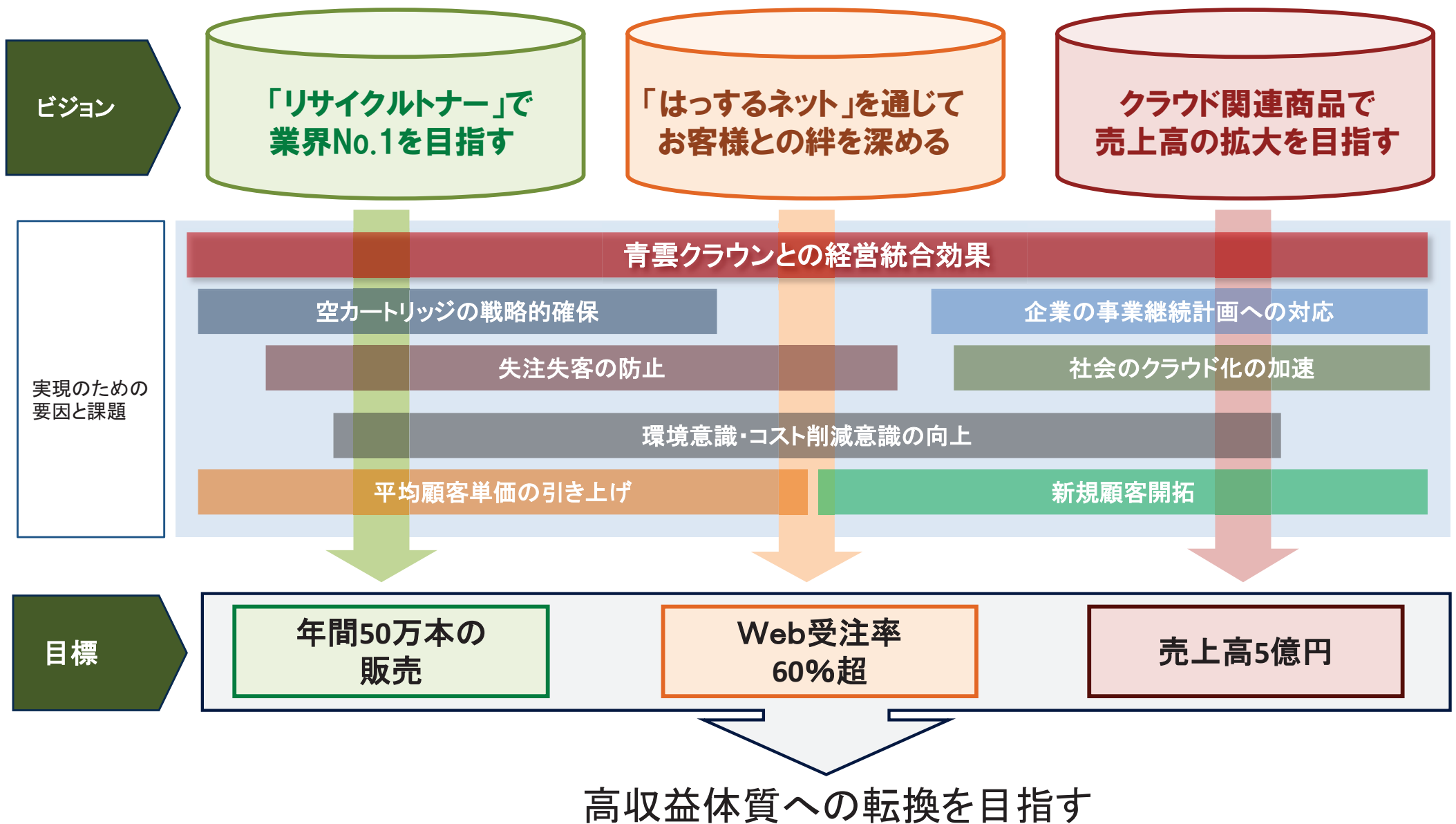
配当金



配当については、安定的な配当の継続を基本とし、今後の事業展開を勘案した上で業績に対応した配当を行う。

Ⅲ.2013年8月期 事業戦略

3本柱の将来的展望



地球との共存を目指し、お客様との共栄を願う。



【本資料のお取扱いについて】

本資料は、ケイティケイ株式会社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信に基づく見込みです。

また、多様なリスクや不確実性（経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これらに限られません。）を含んでいます。そのため、当社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なる可能性がありますので、ご承知おき下さい。